

## 北海道建築士会青年委員会事業報告書

報告件名	社会貢献に関する検討会議
報告者	針ヶ谷拓己
開催日時	平成27年6月20日 18:30～20:15
開催場所	札幌副都心開発公社会議室
出席者	針ヶ谷、原、福澤、北野、山田、小林、永井、大浦、鈴木、岡本

### 報 告 内 容

#### 《協議事項》

##### 1. 建築士（会）周知イベントについて（針ヶ谷）【18：30～19：00】

- 担当      ◎針ヶ谷、小林、石塚、原、永井
- 日時      平成27年6月20・21日（土・日）
- 場所      新さっぽろアークシティ サンピアザ 光の広場
- 内容      将来を担う子どもたちに建築に興味をもっていただくことや、建築士（会）のPRを目的に、「建築のお仕事体験」「建築設計実演又は別の何か?」「建築相談」「建築士会活動のパネル展示」を企画する。お仕事体験した子どもたちにはお給料としてイベント通貨「チーク」を支払い、その「チーク」を使って、会場内の駄菓子屋などで好きなものと交換して楽しんでいただける。体験できるお仕事は下記の通り。

- ①すんでみたい「お家」をかいてみよう（道央ブロック）
  - ②おりがみで「たてもの」をつくってみよう（道東ブロック）
  - ③ブロックで「まち」をつくってみよう（旭川支部）
  - ④パズルで「お部屋」をかんがえよう（札幌支部）
- 【1日目】 8：00～10：00 会場準備  
10：00～13：00 イベント午前の部  
13：00～18：00 イベント午後の部  
18：00～18：30 片付け（21：00まで人員配置及びパネル展示）  
18：30～20：15 社会貢献に関する検討会議  
20：30～22：30 懇親会
- 【2日目】 9：00～10：00 会場準備  
10：00～13：30 イベント午前の部  
13：30～18：00 イベント午後の部  
18：00～18：30 撤収（21：00まで人員配置及びパネル展示）

##### ○本日の感想、今後の改善事項

- ・スタッフが足りない。特にブロック玩具は午後から1名体制  
→明日は全体を見ながらスタッフの割り当てを都度調整する
- ・長時間でハード。スタッフ個人への負担が大きい。2日開催を1日開催にできないか  
→会場の都合もあって、2日開催としなければならない。来年はスタッフの増員を検討する
- ・子どもと触れ合うことができ良かった
- ・ストロータワーが人気あった。来年は正式ブースとして良いと思う。担当スタッフ（東西アスファルト事業協同組合さんがきつそうだった。
- ・子どもたちに建築を知ってもらえる良いイベントだと思う。開催時間、スタッフの人数など今後、検討が必要

##### ※お仕事体験した人数（チークを渡した人数）

20日 絵(197)、折り紙(128)、ブロック(149)、パズル(133)、ストロー(116)、教室(23) 計746  
21日 絵(174)、折り紙(145)、ブロック(145)、パズル(137)、ストロー(136)、教室(12) 計749

合計 絵(371)、折り紙(273)、ブロック(294)、パズル(270)、ストロー(252)、教室(35) 合計1,495名

## 2. 全道大会（紋別大会 テーマ「オホーツクの四季を編む」）について【19：00～19：45】

### (1) 青年サミット

○担当 ◎鈴木、山田、福澤、北野

○日時 平成27年9月18日（金）

○場所 紋別市民会館 3階「小ホール」（紋別市潮見町1丁目4番3号）

懇親会：紋別氷海展望塔オホーツクタワー（紋別市海洋公園1番地）

※懇親会会場については、サミット会場及び主要ホテルからバスにて送迎

※懇親会ではガリンコ号へ10分程度乗船する予定

※二次会も検討中。お店ではない会場にて自由に参加を想定している

○テーマ 「オホーツクの四季から奏でるまちづくり」

○テーマコメント

紋別はオホーツク海に面し、豊かな自然に恵まれており、四季のうつろいが感じられるまちです。夏の涼しさは避暑地となり、屋外のスポーツも快適に行えます。また、冬の雄大な自然がつくりだす流氷は、多くの観光客を魅了しています。しかしながら、紋別市の人口は減少を続けており、中心市街地には空き地、空き家、空き店舗が目立ち、活気が失われつつあります。それに対して、紋別市は中心市街地の活性化のため「紋別市まちづくりビジョン」の策定。そして、今年には「都市計画マスタープラン」が策定され、住民、地域関係者及び行政等が協働し合い、長い歴史や、伝統を活かした将来的なまちづくりの取り組みがされ始めています。我々青年建築士は、現在の紋別を肌で感じ、オホーツクの四季を通して、これから未来へ継いでいく魅力的なまちづくりとは何かを話し合い、考えたいと思います。

○内容 市内をバスで巡り、何箇所かでは降車してまちなみ散策を行い、紋別市を感じとります。会場もどり、まち巡りの感想等、意見交換を行い、グループごとに春夏秋冬のいずれかを選択し、その季節についての「魅力的なまちづくり」について話し合います。成果品として、テーマ・コンセプト・キャッチフレーズ・まちの特徴を書き出すとともに、市街地図へ具体的に落とし込んだ「魅力アップマップ」を作成します。

13:00～13:30 (30) 受付

13:30～14:10 (40) 挨拶・説明・紋別市紹介（春夏秋冬の説明含む）、  
連絡会議WSの経過報告(10)

14:10～15:40 (90) まち巡り（バス移動）、まちあるき（約1.5km）

15:40～16:00 (20) 休憩

16:00～17:00 (60) ワークショップ

17:00～17:30 (30) 発表（感想含む）

※詳細は別紙による

※CPD申請は本部事務局にて行う

※各種備品は紋別支部で用意する

※まち巡りシートを参加者に記入いただき回収する

※ワークショップについてはテーブルマスター用の虎の巻を用紙すること

○スケジュール

・詳細企画の決定（8/8）

・CPD申請は本部事務局にて行う

## (2) 分科会

- 担当 ◎福澤、永井、大浦、山田
- 日時 平成27年9月19日(土)
- 場所 紋別市文化会館1F「多目的ホール」(紋別市幸町3丁目1番8号)
- テーマ 「まちなかで考える 地域コミュニティと空き家 ～建築士としてできること～」
- テーマコメント

近年、社会問題となっている空き家問題。市民生活の安心・安全の面から不安視されています。ここ紋別市も少子高齢化等により人口減少傾向にあることから、さらに空き家は増加していくものと思われます。C分科会ではこの空き家問題に視点をあて、空き家の現状や課題、そしてその対策や施策を学ぶとともに、地域コミュニティの活性化に繋がる空き家の有効な利活用方法を模索し、建築士として何ができるかを考えていきます。

- 内容 空き家問題をテーマに、現状の問題を学び、解決策を考えるとともに、紋別市街地の商店街にある老朽化した空き店舗をモデルに、その地域のコミュニティ活性化を目指し、建築士の立場でリノベーション提案を行う

12:30～12:40 あいさつ、進行説明

12:40～13:00 空き家問題の現状説明(紋別市の方、又は本部青年委員)

13:00～14:00 ワークショップ

①空き家問題を考える「空き家について考えよう！」

②空き家の利活用提案「空き家をつかって何かをしよう！」

14:00～14:20 発表

14:20～14:30 総評、事務連絡、閉会

※詳細は別紙による

※ワークショップ①では、所有者・近隣住民・行政の立場となってそれぞれ意見出し、解決策も論じることから時間がかかりそう

※ワークショップ②については商店街のモデル空き家にて想定する。候補建物は紋別支部にて選定していただく。所有者には必ず了承を得ること

※ワークショップは8テーブルにて計画する

- スケジュール

- ・実行計画書(会場レイアウトや詳細スケジュール)の作成(7/末)
- ・詳細企画の決定。配付物や成果品フォーマットの作成(8/8)

## 《その他連絡事項》【19:45～20:15】

### (1) ブロック協議会について(針ヶ谷)

- 報告書の作成、領収書の提出について
- 各ブロック協議会の日程

道南ブロック 第2回:函館(7/11) 第3回:MLにて報告する

道央ブロック 第2回:恵庭(7/25) 第3回:MLにて報告する

道北ブロック 第2回:上富良野(6/27) 第3回:MLにて報告する

道東ブロック 第2回:釧路(7/11) 第3回:MLにて報告する

### (2) 東西アスファルト事業協同組合の協賛について

- 東西アスファルト事業協同組合より北海道建築士会へ協賛いただけることが決まり、各実行委員会にて7/2までに協賛申請書を作成することとなっている。青年委員会としては①建築のお仕事体験in新さっぽろ ②建築のお仕事体験in函館 ③建築のお仕事体験in道北ブロック ④建築のお仕事体験in道東を申請予定。各ブロック長には申請書を作成いただきたい

(3) 建築士新規登録者のための事業について (会員増強特別委員会)

- ①製図試験の建物見学会
- ②免許証授与式&建築士新規登録者セミナー

※本部青年・女性委員会共同で企画。現在針ヶ谷にて企画（たたき台）を作成中。後日MLへ企画書をアップし、みなさんから意見を伺う予定

(4) 全国大会（石川大会）について（針ヶ谷）

- ①建築士フォーラム  
地域実践活動の発表。発表者は青年建築士の集いを開催した後志支部&道央ブロック
- ②セッション  
未来のまちづくりについて

(5) 「北海道建築士」の原稿について

建築のお仕事体験イベント 8/1 寄稿予定 (小林)

※トピック（表紙ページ）となるため、参加した子どもたちへのインタビューやアンケート結果を掲載するなど、工夫した内容としたい

(6) 平成 28 年 青年建築士の集いについて

道北ブロックでの開催であるが、企画立案が難航している。できれば過去の青年建築士の集いで行われていた、全国大会出場への選抜大会としたい（北野ブロック長）

→3年前より本部青年委員会では地域実践活動の推進を進めてきた。来年、選抜大会にすることは良いと思われる。ただし、今後毎年選抜大会を行うには、ネタ切れが予想されるので、数年に1度の選抜大会開催が望ましいと思われる